

## 診断士の皆さんへ 耐震診断報告書の作成にあたってのお願い。

(社)新潟県建築士会耐震診断判定会

耐震診断の実施に当たっては下記の点に留意して報告書を作成くださるようお願いいたします。

### I 調査票の作成について (別紙の「耐震診断計算書・確認項目一覧」を参照)

既存平面図	方位、寸法、通り心、筋かいの位置等 (建築基準法施行規則に準ずる)
現況写真 (カラー)	外 観：4面以上 (東西南北、平面図と照合できるもの)
	各居室等：2面以上 (仕上げ等が確認できるもの)
	基礎外観：4面以上 (ひび割れ等が確認できるもの)
	小 屋 裏：4枚以上 (筋かいの頭部・各接合部の金物・火打ち梁・野地板の種類・小屋筋かい・雨漏り等が確認できるもの)
	床 下：4枚以上 (布基礎、独立基礎のひび割れ・基礎の鉄筋の有無・基礎の位置・地盤の湿気が確認できるもの)
そ の 他：報告書で説明を要するもの	
面積表	建築基準法による算定で診断面積が判るもの

### II 現地調査における注意点

1. 調査建物の図面等が無い場合は、事前調査で平面図を作成してください。
2. 調査は原則二人一組で行ってください。
3. 小屋裏及び床下は必ず中に入って触手、目視確認のうえ、写真撮影を行ってください。(小屋裏、床下に入れない場合はその理由を記してください。)

### III 計算方法

1. 不整形な平面の診断は「偏心率法」で計算してください。  
整形な平面の診断は「4分割法」で計算してください。
2. 2階の床面積が1階の床面積の50%未満の場合は精算法で計算してください。  
" 以上の場合は簡便法で計算してください。  
(不整形 ⇒ 入り隅が4箇所以上あるか、L形、コ形、T形の建物又は2階が突き出している建物)

### IV 写真のコメント

写真のコメント欄にはどこを写したのか、又壁等の下地や仕上げ等を記入してください。評点に関係する部分の写真は詳しく記入してください。

### V その他

診断ソフトの「木造住宅耐震診断終了後の自己審査チェックリスト」も提出してください。

以上 耐震診断の判定をスムーズに行うためご協力をお願いいたします。

## 耐震診断計算書・確認項目一覧

邸

平成 年 月 日

計算書の提出にあたっては、下記の項目について再度チェック(レ)してください

項 目		確認		
1 木造住宅耐震診断終了後の自己審査チェックリスト				
2 新潟市木造住宅耐震診断計算書(現況) カラー出力				
3 現況平面図(写真と整合) (なお、既存図面(旧図面)があれば添付してください)	方 位			
	縮 尺			
	寸 法			
	通り心			
	筋かいの位置			
	基準法の求積表・求積図			
	診断の求積表・求積図			
4 現況写真 (評点に関する写真には全て下地や仕上の状況などのコメントを必ず記入してください)	東西南北-4面以上			
	ポーチ全景・バルコニー全景			
	屋根・雨樋			
	基礎ひび割れ部分			
	換気口周り部分			
	各室2面以上			
	1階床下	基礎		
		土台		
		大引き		
		根太		
		根絡み		
		床束・束石		
	小屋裏	筋かい頭部(金物等)		
		梁・桁の接続部(金物等)		
		柱の頭部(金物等)		
		母屋・垂木(小屋束との接合部)		
		雨漏りの形跡		
現況平面図は建築基準法施行規則に準じて作成してください。				